

## 令和5年麒麟のまち創生戦略会議 サミット議事概要

日時：令和5年11月2日（木）午後3時～4時

場所：香美町役場 3階 大会議室

出席者：鳥取市：深澤義彦市長、西村紳一郎市議会議員、岩美町長、岩美町議会議員、若桜町長、若桜町議会議員、智頭町長、智頭町議会議員、八頭町長、八頭町議会副議長、香美町長、香美町議会議員、新温泉町長、新温泉町議会議員

### 1 開会あいさつ（香美町長）

### 2 意見交換 テーマ「麒麟のまち圏域における人口減少対策について」

資料説明：上田鳥取市政策企画課長

#### ＜岩美町：長戸町長＞

岩美町でも、平成から令和にかけて30年間の間に30%くらい人口が減った。出生数が追いついていない印象である。平成17年以降、出生数が2桁に対し、亡くなる方が約150～200人、社会増減数も毎年50人前後減っている。とはいえ、立ち向かっていかないとはいえない。なかなか特効薬はない状況にある。

岩美道路ができたことで、民間の宅地造成が進んでいる。年間の新築のうち、半分は町内の移動だが、半分は近隣からの呼び込みになっている。比較的若い方が入って来ているので、もう少ししたら出生数にも変化があるかもしれない、と淡い期待をしている。岩美町では住宅を建てる方に助成をしている。

出生数を増やす取組をしていかないと、近隣で同じパイを取り合っている、という話になる。岩美町に住んでいただける方の出生数を増やしていく、この部分を手厚くしていきたい。来年度以降、新しい施策を考えたい。

#### ＜岩美町：足立町議会議員＞

岩美道路の開通が一番大きく影響していると思う。いつまでこの影響が続くかを見ていくところ。

次に行政にお願いしたいのは、若い人たちが勤める場所、企業誘致、地元企業の育成に力を入れていただきたい。

#### ＜若桜町：上川町長＞

若桜町も過疎化が大変進んでおり、人口減少に歯止めをかけるということが一番の課題だと考えている。人口が減少すると消費が減る。そうすると商店や公共交通機関、医療などの民間サービスが縮小し、住民の生活が不便になり、住民が町外へ出ていくという悪循環が続いていく。これを何とか断ち切って人口減が下げ止まるような方策をとりたい。町政の最大の課題だと思っている。

少子化対策、移住政策は重要なのでやっていくが、根本的には地域経済の活性化をして雇

用をつくりだすことが一番大事ではないかと思う。地域に入ってくるお金を増やす、産業振興や観光振興で地域にお金を落とさせていただくとともに、まちに入ったお金をいかに地域内循環するかが大事だと考えている。そういう意味で、地産地消、地消地産もしっかりやっていきたい。例えば、町内で食事をしていただくと飲食店にお金が入るが、その食材は地元の商店で仕入れる、商店は地元の農家から仕入れて、入ったお金が順繰りまわっていくような、そういう地産地消の構造をしっかりつくっていく。

あるいは、地元で消費するものはなるべく地元で生産できないか。若桜町では、いい蕎麦がとれるが、町外に出荷している。今、地域おこし協力隊でそば職人を公募しており、そば打ちをする集落での修行を経て3年後に町内で起業してもらいたいと考えている。そうすれば、地元の人も鳥取まで行かなくても蕎麦が食べられるし、経済がまわっていく。いろんな分野で起業も増やしていきたい。

地域経済の活性化をはかる指標がないので、鳥取大学地域学部と連携しながら、若桜町版の産業連関表を作りたいと考えている。事業所がどこから原材料を仕入れて、製品をどこに出しているのか、産業分野毎に調べて、域外・域内収支がどうなのか、町内全体のGDP、生産がどれくらい上がっているのかを経年で調べていきたい。できれば買い物状況も含めた形でできたらいい。そういった意識を持って施策を積み重ねていきたい。

#### 《若桜町：山根町議会議長》

議会報告で、町内の各集落を回っているところ。その際、町民の方から言われるのは、なぜ町外へ転出してしまうのか、ということ。買い物が不便、町内に職場が無い、通勤が不便、若桜学園の生徒数が少ないため好きなスポーツができない、などいろいろと理由がある。

町内には高速道路がなく、主要幹線道路は国道29号線。鳥取市内まで約50分だが、遅い車がいるともっと時間がかかってしまい、通勤にストレスを感じる。若い人は、家建てるなら鳥取市内かその近くを希望する傾向が見られる。国道29号線の4車線化はなかなか難しいが、譲りゾーンを設けてもらうなど工夫すれば少しは解消されるのではと思う。地域にとって道路というものは本当に大切だと思う。移住の補助金や子育て施策も頑張っているが、それらも含め、これからも頑張っていきたい。

#### 《智頭町：金兒町長》

若い年代の転出が多ければ次に生まれてくる子どもも減る。いかに高校卒業後、大学卒業後の若い人を引き留めておけるか、社会減を少なくするかが将来の子どもたちの数に関わってくる。それを考えていろんな施策をしている。智頭町は働く場所はあるが、給料が安い。可処分所得を考えると、そんなに差はないと思うが、やっぱり給与が高い方に目が行ってしまふ。そういったことを踏まえて、住むところが変わっても生活の状況はそんなに変わらない、という視点を含めた推進の仕方を考えていかないといけないと思う。

#### 《智頭町：谷口町議会議長》

自然減に対する対策は難しいので、いかに社会減を食い止めるかにつきると思う。人を増やすということを考えると移住がまず浮かぶが、移住にはリスクもあるという側面を改めて認識いただきたい。都市部でリタイアし生活をゆっくり楽しみながら暮らしたいという

方においていただいているが、町の財政の20年後を考えると、福祉関係に係る経費が増える。増えるということになると、やはり若年層が増えないといけない。

ここで生まれた育った子どもたちが大きくなったときに、そのまちに住んでいきたいという環境をつくっていかないといけない。以前、智頭町では分家が人口減少の歯止めになっていた。これから先、派手さはなくても、着実に、このまちに住む価値を共有できる人が多いというのはまちの自慢になる。田舎ならではの楽しさを共有できるまちづくりになれば、きちんとした後継者が残っていく。その人たちの手立ては行政がしっかりやっていないといけない。

#### 《八頭町：吉田町長》

八頭町は合併して今年で19年目。2万300人いた人口は1万6000人を切った。18年間で約22%減少している。合併時は出生数が年130~140人だったが、今は89人ほど。高齢化率は27%から37%に上がった。1年間で約300人が亡くなっており、自然減は年間約200人。社会減は、転入が年間約300人、転出が450人ほどで年約150人減ということになる。自然減と社会減合わせて、毎年約350人減少している。昨年はまち全体が過疎地域になった。

一方で、民間活力もあり、年約40軒の新築が建っている。若い人をいかに引き留めるかが課題。若い人が求めるのは便利なまちで、買い物であったり、渋滞緩和なども大事である。子育て支援、移住定住など若い人にスポットを当てた取組も必要である。八頭町では、若い人の移住に向けた組織が立ち上がって、期待しているところである。私個人としては、人口減少に歯止めがかかるのは難しいので、それぞれのまちが元気であることが一番大事だと考える。

#### 《八頭町：奥田町議会副議長》

八頭町議会では、定数14名に対し女性議員が4名おり、県下でも女性議員の割合が多く、子育て支援に関する一般質問も多い。若い女性に関しては、子育て支援も大事だが若い世代の流出をいかに食い止めるかも大切ではないかと思う。町では婚活事業に力を入れているが、結果がなかなか表に出ない。かつての世話焼きのおばさんのようなベテランの方の力を借りることも必要ではないか。また、圏域で考えたときに、医療の問題があると思う。八頭町には産婦人科がない。小児科も個人病院ということもあって高齢化しており、内科も減少している。子どもを安心して生み育てることのできる安心安全な医療体制が大切。圏域においても医療に視点をおいてもらいたい。

町内では過疎化が進んでいるが、一部では住宅も増えている。近隣で人口を引っ張り合うのではなく、お互いが元気なまちになっていくのが理想だと思う。

#### 《香美町：浜上町長》

香美町は、ここ数年県下2番目の人口減少率で推移している。現在、人口1万6千人を割って、合併前の香住町の人口にまで減った。少子化支援策に特化した施策など頑張ってきたつもりではあるが、人口減少の歯止めにはなっていない。令和5年度より、就学前から中学生までの給食費を完全無償化した。18歳までの医療費無償化は大分前から取り組んでい

て、町民からの評価はいただいているが、人口減少の歯止めにはなっていない。

近隣市町への人の移動、特に豊岡市への人の移動がある。香美町は豊岡市より子育て支援等が充実していると思うが、それでも人の移動があり、個人的には、まちの持つイメージに拠っているのではないかと思う。生活の利便性やそのまちに住んでみたいというイメージなど、少し角度を変えた人口減少対策がこれから必要になってくるのではと思う。合併時から人口が7千人くらい減っている。宅地開発もなかなか町の力だけでは難しい、漁業のかつての賑わいも難しい中で、いかにしてまちの明るい楽しいイメージを近隣にお住いの人、都市部でお住いの人に持っていただけるか。このことが課題であると思う。子育て支援など住民サービスもなかなかこれ以上はできることが少ないのかなと思う。職員と一丸となって、何とか減少に歯止めをかけたいと思っている。

#### 《香美町：岸本町議会議長》

議員を14年しており、人口減少対策としてはとにかく結婚対策だと思って頑張っているが良くならない。男性の5人に2人は生涯未婚になり得るという統計データもある。振り返ってみると、近所のいわゆる「おせっかいおばさん」がいなくなった。一方で、新温泉町の照木地区や御火浦の地区は割合戸数の減少が少ないような印象もある。とにかく人口減少対策は結婚対策だということで頑張っていきたい。

#### 《新温泉町：西村町長》

鳥取県、兵庫県ともにこの10月から最低賃金がアップし、メリット・デメリットあると思うが、影響を活かしていく必要があると思う。新温泉町では合併から5年後ぐらいから、湯村温泉の倒産・廃業が始まったが、最近では外部資本が買い取って再生する動きが出てきた。従業員の車のナンバーを見ると鳥取ナンバーが増えてきた。岩美道路ができてあつという間に新温泉町に来られるようになったという背景もあるが、鳥取県より兵庫県の方が最低賃金が高いからか、とも思う。岩美町は人件費が新温泉町より安い、土地が安く家が建てやすい。また、城北高校は、朝晩通学バスが出ており、新温泉町の卒業生のうち5割くらいを鳥取市に引っ張っていく。人口減少がどんどん激しくなっている。高額所得の職種などは、兵庫県で儲けて、鳥取市や岩美町で家を建てて税を納める。力のある事業所が人件費の安い鳥取の方に出てしまった、という流れもある。

神戸と但馬では経済的な環境が全く違うのに、但馬は神戸と最低賃金が同じ。鳥取県と同じにしてもらったと思う。賃金のあり方やそれに伴う高速道路網の発達などが複雑に絡み合っており、難しいパズルのような解決策が必要だと思っている。皆さんの知恵をお借りできればと思う。

#### 《新温泉町：宮本町議会議長》

子育て支援に関して言えば、「ぽかぽか子育て新温泉町」というチラシを作っている。新生活の家賃補助、新生児に月5千円のおむつ代、出産・子育て応援交付金各5万円、保健師・助産師相談の充実、18歳までの医療費無償化、子ども園の給食費無料化は令和5年度から始めている。町内にある県立高校の通学定期券購入費1/4補助などの施策がある。子育て支援は緻密に行われていると思う。

新温泉町は、人口1万3,170人に対し外国人労働者が188人。比率にすると1.427%で、令和4年度で急激に増加している。新温泉町には外国人の技能実習生が43名おり、そのうち30名は技能実習生で13名は日本人と同様の雇用契約を結んで、賃金も日本人と同額。徐々に、法規制も緩和されてきており、漁業の発展に寄与されている。100億円以上の経済効果が生まれる事業なので、今後も外国人労働者が増えてくると思われる。非常に好調な事業ではあるが、地元の方には敬遠される。麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンに、外国人受け入れ対策を、共通の課題としていただいて、増やす方法をご指導願いたい。

#### 〈鳥取市：西村市議会議長〉

市庁舎から本サミット会場まで、所要時間が50分だった。山陰近畿自動車道の早期の完成が待たれる。高速道路ネットワークの整備促進は、圏域の経済、観光とそれに伴う魅力アップにつながると思う。山陰近畿自動車道の未整備区間の早期整備及び南北線の早期の事業化を、圏域の皆さんの力を借りて要望したいという思いである。そういうことが、圏域の魅力アップにつながると感じており、御理解を賜りたい。

圏域の連携強化をして、元気な圏域になるようにと考えている。情報を共有し、特産品等の認識を高めていただいて、それぞれの地域の経済が安定したらいいと思う。

#### 〈鳥取市：深澤市長〉

鳥取市でも毎年人口減少が進んでいる。平成17年の国勢調査では人口201,740人だったが、現在の推計人口は約18万3千人くらいで、減少が進んできている。本市では平成18年9月に移住定住、Uターン相談支援の窓口を開設して、いろいろな取組をしてきた。相談対応、企業誘致、子育て支援などいろいろ取り組んできたが、なかなか減少に歯止めがかからない。移住相談窓口を開設してからトータルで4,736人が相談窓口を通じて移住し、その他にも移住していただいている方もいると思う。一方で、若い世代の転出や出生数が伸びない状況もある。鳥取市の社会動態の特徴として、20歳前後の方が卒業後、進学や就職で市外転出してしまうのが一番大きな減少要因である。いったん市外へ進学、就職した方にふるさとへ帰ってきていただけるような施策が重要である。働く場所がないとよく言われるが、魅力的な企業・事業所もたくさんあるので、高校在学中に知っていただけるよう、企業見学など取り組んでいる。

国全体の人口数のピークが平成20年をピークに、急激に減少に転じている。全国の各自治体が移住定住などで人口を取り合っても、全体数が減少している以上、こういった取組はそろそろ考えた方がいいと思う。やはり、ふるさとや圏域の魅力を高めて発信していき、若い世代の人に引き続き定住してもらい、また、一度転出しても帰ってきていただけるよう力を入れていくことが重要である。圏域に魅力を感じていただき帰ってきてもらい、定住してもらうことが大事で、子育て対策も含めて総合的にやっていくべき対策であると思う。

### 3 閉会あいさつ（岸本香美町議会議長）